

## XBT-DBT データ（標準層）

### 1 ファイル名

xxyyymm.U

ここで、xx: 各層観測コード (表 1 参照)

yy: 年 (西暦年の下 2 桁)

mm: 月

### 2 フォーマット

XBT-DBT データ (標準層) は、1 レコードが 126 バイトの固定長からなるアスキーファイルで、行末は、DOS 形式、つまり「復帰」[改行] (16 進アスキーコードの 0D 及び 0A) である。欠測値には、' '(アスキーコードの 2D) を記入し、その要素が観測項目では無い場合は空白としている。XBT-DBT データ (標準層) は、各航海について、航海情報に関する HEADER レコードと表層水温データに関する DATA レコードから構成される。

#### HEADER (航海情報)

要素	開始位置	フィールドタイプ	フィールドの説明
CRUISE NO	1	I4	航海年次
PERIOD	5	2(2I2)	表層水温観測の開始日と終了日
AREA	13	A100	観測海域
PERIOD	113	2(2I2)	海面の海流観測の開始日と終了日
SHIP CODE	121	A2	各層観測コード (表 1)
FORMAT CODE	123	A4	フォーマットのバージョン (UX.X)

#### DATA

要素	開始位置	フィールドタイプ	フィールドの説明
STATION NO	1	I3	測点番号 (連続した 3 桁の数字)
DATE/TIME	4	2(2I2)	観測した月、日、時刻 (日本標準時)
LATITUDE	12	I2,I2	緯度の度、分
LONGITUDE	17	I3,I2	経度の度、分
Qc	23	I1	地球の四半球。1:北緯・東経、3:南緯・東経
TEMP 0 m	24	I3	標準層の水温 (1/10 )
10	27	I3	
20	30	I3	
30	33	I3	
50	36	I3	
75	39	I3	
100	42	I3	
150	45	I3	
200	48	I3	
250	51	I3	
300	54	I3	
350	57	I3	
400	60	I3	
450	63	I3	
500	66	I3	

要素	開始 位置	フィールド タイプ	フィールドの説明
	550	69	I3
	600	72	I3
	650	75	I3
	700	78	I3
	750	81	I3
	800	84	I3
	900	87	I3
	1000	90	I3
	1200	93	I3
	1400	96	I3
	1600	99	I3
	1800	102	I3
	2000	105	I3
SURF-SAL	108	I5	海面塩分 (1/100 PSS-78)
TIME	113	I2, I2	対応する海面の海流の観測時刻 (日本標準時)
DIR/SPEED	117	I3, I2	GEK で計測した海面の海流の真方向 (度) と速度 (0.1 ノット単位)。流速が 0.05 ノット未満では流向は 0 ° とする。
HYD-NO	122	I4	対応する各層観測データの測点番号
TYP	126	A1	測器のタイプ (X: XBT, D: Digital BT)

表 1: 観測船コード

観測船名	各層観測
Kofu Maru	KO
Ryofu Maru	RY
Keifu Maru	KE
Shumpu Maru	SH
Chofu Maru	CH
Seifu Maru	SI